



みんなで育む 学びのまち 真室川

～ふるさとを愛し 高い志をもって 未来をひらく 人づくり～



# スタディツアー 学びのしおり



歴史を育んだ羽州街道



延命寺

大人の社会科見学 第5弾

小学生からOK!

**真室川**

スタディツアー

**いま、真室川が  
おもしろい!**

「戊辰戦争と  
明治の夜明け編」

令和3年6月26日(土)

8:30～



名勝：落合滝



明治天皇ご巡幸のご休憩所跡



戊辰戦争及位の戦い台場跡



戊辰の古戦場跡



及位の入口：地蔵堂

「幕末～明治初期のまむろがわ」を学ぶ一日。学びたい大人のための「社会科見学」です。

【ツアー行程】マイクロバスによる移動となります

受付(8:00～8:30) ⇒ 開講式・オリエンテーション ⇒ 戊辰戦争及位の戦い台場跡 ⇒ 羽州街道(徒歩) ⇒ 地蔵堂 ⇒ 戊辰の古戦場跡 ⇒ 延命寺(休憩・講話) ⇒ 明治天皇ご巡幸のご休憩所跡 ⇒ 中央公民館 ⇒ 閉講式(12:30頃終了予定)

※雨天決行の予定ですが、天候や所有者の都合等によりコース変更や中止となる場合があります。ご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症予防のため、昼食を摂らず午前中で終了します。軽食が必要な方は各自ご用意ください。

※町内在住の方25名限定での開催となります。

真室川町教育委員会 真室川町中央公民館

# 第5回真室川スタディツアー「いま、真室川が面白い！」

## 戊辰戦争と明治の夜明け編

### 開 講 式 次 第

会 場：中央公民館玄関前  
※雨天時は中央公民館研修室  
時 間：8：30～8：45

1. 開 会
2. 主催者あいさつ
3. 講師紹介
4. オリエンテーション
  - (1) 事業の概要・タイムテーブル
  - (2) 事務連絡(体調管理等の諸注意を含む)
5. 閉 会

### 閉 講 式 次 第

会 場：中央公民館研修室  
時 間：12：10～12：30

1. 開 会
2. 修了証交付
3. 主催者あいさつ
4. 振返り(アンケート)記入
5. 閉 会

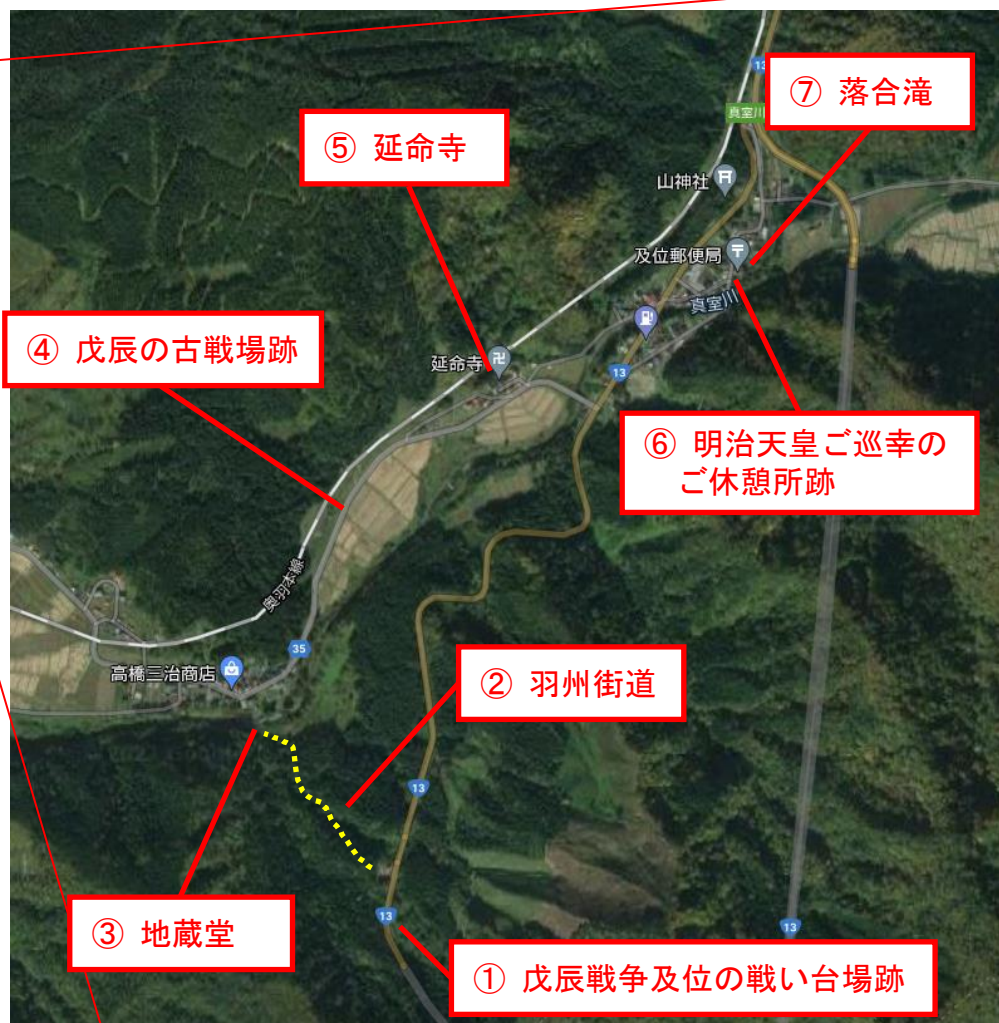
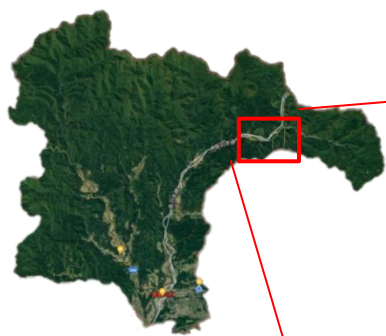


## 【スタディツアーについて】

真室川町のスタディツアーにご参加いただき、誠にありがとうございます。

真室川町にはたくさんの宝物がありますが、地域の方々からは「真室川町には何もない」との声がしばしば聞かれます。子ども達は学校での「ふるさと学習」により、地域の宝物を多く学んでいます。しかし、その親・祖父母世代である大人は、真室川の本当の宝物や魅力を知らないままに生活している方が、案外いらっしゃるのではないのでしょうか。そのようなことから、今回、改めて地域の宝を再発見する社会科見学を企画しました。子ども達と一緒に大人も町の良さを見つめなおすことで、「真室川町にはいいところがたくさんある」と自信を持って言える方が増えることを期待しています。

# 【見学地の位置】



## 【真室川町の概要】

(令和3年5月末現在)

- 面積：374.22k m<sup>2</sup>（約 87%が山林）
- 人口：7,211 人
- 世帯数：2,643 世帯
- 町の木：梅の木
- 町の花：梅の花
- 町の鳥：ウグイス
- 町の昆虫：ハッチョウトンボ
- 町の魚：ハナカジカ
- 町の音頭：真室川音頭

山形県の内陸最北部に位置し、北側は秋田県に接している。約 87%が山林の中山間地域であるため、古くから林業、農業が盛んである。また、各地区には伝統文化が数多く継承されており、番楽、囃子、わらべ唄のほか、伝承野菜等も引き継がれている。

# 【及位】とは

○山形県の最北部で、秋田県に結ぶ真室川町「及位」という地名がある。地元ではノゾキと発音するが、なかなか読むのが難しい。

「日本奥地紀行」でイザベラバードは Nosoki と清音で記している。この村の西方にそびえる甕山は、昔修験者の道場で栄えたという伝説がある。

この山には、男根の形をした岩山の男甕山と、女陰の形をした岩山の女甕山とがあり、この岩穴にさかさまにつり下がり、穴底を除くことが最後の修行とされ、位が授けられたという。

のぞきの地名もそこからおこったといわれ、及位(位二及ブ)と書いてのぞきと読むのもこの修行からきているといわれる。

また、及位はもともと山間の村で、水田も少なく生活が楽でない。よって位に及ばず、人間としての位から除かれたところという説をとる人もいる。他に、アイヌ語という説もある。

※「羽州街道 及位宿」令和2年8月

真室川町歴史民俗資料館編集・真室川町教育委員会発行 から一部抜粋



甕山(こしきやま)

## 戊辰戦争の遺構（①戊辰戦争及位の戦い台場跡・④戊辰の古戦場跡）



慶応4年(1868年)7月、新政府軍は、奥羽列藩同盟軍討伐のために院内から雄勝峠を越え、及位村(旧及位)北側に兵を進めた。古戦場跡地(写真右)は、同盟軍が新政府軍を迎え撃った場所であり、激戦地となった。また、同盟軍は地蔵堂付近に第1の台場、その近くの墓地付近に第2の台場を設けて防戦したが、新政府軍の猛攻により次々とそれらを捨て、第3の葛搔台(写真左)、第4の台場、第5の台場(主寝坂峠の頂上)を陣地として激しく銃砲戦を展開した。歴史上の大変革といわれる明治初期における当町の情勢、当時の防御陣地の規模・構造を示す戦場の遺構として、これらは極めて重要な史跡である。

※「羽州街道 及位宿」から一部抜粋

【メモ】

# ○及位地区地図



## ②羽州街道

羽州街道



羽州街道は、江戸時代に整備された脇往還(わきおうかん・五街道以外の主要な街道のこと)のひとつである。慶長7年(1602年)、常陸国に領地を持っていた佐竹義宣が秋田に転封された際、金山町から秋田県薄久内に入り、有屋からの山越えに苦難を感じ、江戸までの道づくりに心がけ、院内から及位金山に入るルート、上山市金山から七ヶ宿に入るルート、七ヶ宿から小坂に入るルート等を整備したことから、これらの街道を羽州街道もしくは佐竹道という。この街道が頻繁に使われるようになったのが、寛永12年(1636年)、徳川家光時代に参勤交代が施行されてからである。雄勝峠から主寝坂峠を通ったのは弘前藩、黒石藩、佐竹藩、甕峠の矢島街道から主寝坂峠を通ったのは亀田藩、矢島藩、本庄藩の計6藩であった。

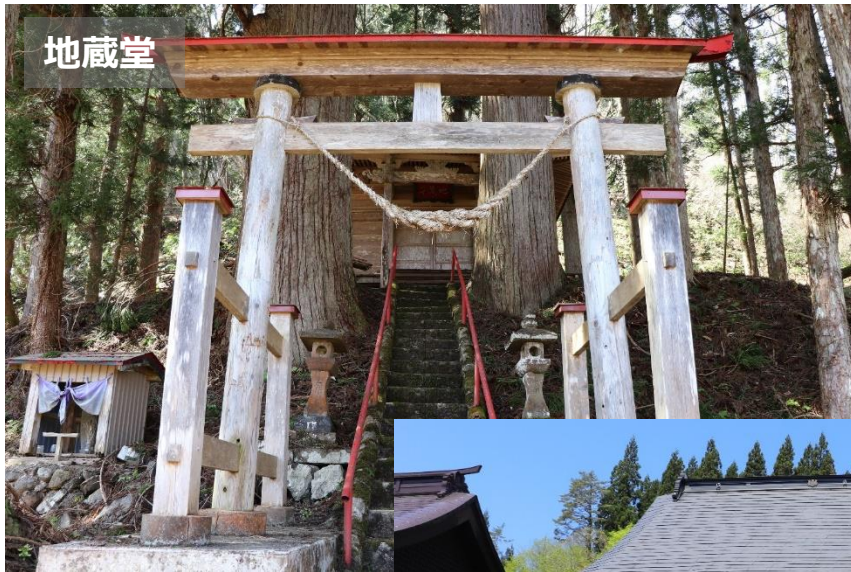
※「羽州街道 及位宿」から一部抜粋

【メモ】

## ○羽州街道マップ



## 及位地区の信仰(③地蔵堂・⑤延命寺)



地蔵堂



延命寺

### 【③地蔵堂(写真左)】

3間4面向拝付唐様で、江戸時代に建立された。主寝坂峠の守護として往来の旅人から信仰されたが、明治14年の峠改修に伴い、この道は廃止されている。なお、毎年8月14日には例大祭が行われている。

### 【⑤延命寺(写真右)】

昭和6年(1931年)、正源寺出張所(別院)として建立された。10年後の昭和16年(1941年)には現在の本堂が建立され、宗教法人として法務局に登録されている。曹洞宗のお寺であり、町内にある同じ曹洞宗の正源寺(新町)、長林寺(木ノ下)、長泉寺(野崎)、瀧応寺(滝の上)に、鮭川村・戸沢村の寺院を加え、毎年大般若法要を行っている。

### 【メモ】

## ⑥明治天皇ご巡幸のご休憩所跡・落合滝



明治天皇ご巡幸のご休憩所跡



現在の萬代橋



落合滝



当初の萬代橋(メガネ橋)

※画：高橋由一  
「羽州街道 及位宿」より

明治 13 年 12 月、初代山形県令(現在の知事)三島通庸によって、山形・秋田を結ぶ主寝坂峠・雄勝峠の開削工事が完了した。

金山新道開削が終わった翌 14 年 3 月、新及位塩根川に架かる石橋が着工され、8 月に完成した。コンクリートを一切使用しない石橋で、当時の日本技術の粋を駆使したものであり、地元の人々は「メガネ橋」と呼んで誇りとした。※現在の橋は、昭和 50 年 8 月 6 日、大水害により石橋の一部と欄干が流出したためにかき替えられたもので、「メガネ橋」の姿は見ることができない。

明治 14 年 9 月 22 日、明治天皇は秋田県よりご巡幸なされ、午前 9 時頃、石橋脇に新築された高橋作右衛門家でご少憩された。このとき同行された有栖川宮殿下が、落成後間もない石橋に「萬代橋」とご命名された。天皇は落合滝の豪快な絶景をご覧になり、川田一等編集官に三瀑の光景を漢詩にするよう申し付けた。

天皇の行列は新道となったばかりの主寝坂峠を越え、金山町に向かわれた。

※「羽州街道 及位宿」から一部抜粋

【メモ】

6/26(土) 第5回まむろがわスタディツアー参加者名簿

| バス         | 番号 | 氏 名    | 住 所            | 備 考 |
|------------|----|--------|----------------|-----|
| 1号車<br>(青) | 1  | 山田 房子  | 町内             |     |
|            | 2  | 高橋 喜久子 | 町内             |     |
|            | 3  | 庄司 実   | 町内             |     |
|            | 4  | 庄司 多美子 | 町内             |     |
|            | 5  | 佐藤 方男  | 町内             |     |
|            | 6  | 佐藤 敬子  | 町内             |     |
|            | 7  | 小松 正弘  | 町内             |     |
|            | 8  | 杉原 和泉  | 町内             |     |
|            | 9  | 杉原 優子  | 町内             |     |
|            | 10 | 土屋 キミ子 | 町内             |     |
|            | 11 | 丹 トシ子  | 町内             |     |
|            | 12 | 伊東 守   | 町内             |     |
|            | 13 | 伊東 瑞枝  | 町内             |     |
|            | 14 | 山田 敏一  | 町内             |     |
|            | ※  | 梁瀬 平吉  | 歴史民俗資料館 館長(講師) |     |
|            | ※  | 矢口 しのぶ | 教育課職員          |     |
|            | ※  | 庄司 由美  | ボランティアスタッフ     |     |

| バス         | 番号 | 氏 名    | 住 所           | 備 考 |
|------------|----|--------|---------------|-----|
| 2号車<br>(赤) | 15 | 高橋 央子  | 町内            |     |
|            | 16 | 高橋 功子  | 町内            |     |
|            | 17 | 庄司 ユイ子 | 町内            |     |
|            | 18 | 黒坂 重政  | 町内            |     |
|            | 19 | 柴田 宏美  | 町内            |     |
|            | 20 | 加藤 俊一  | 町内            |     |
|            | 21 | 矢萩 若子  | 町内            |     |
|            | 22 | 佐藤 裕子  | 町内            |     |
|            | 23 | 須田 衛   | 町内            |     |
|            | 24 | 梁瀬 純一  | 町内            |     |
|            | 25 | 姉崎 園子  | 町内            |     |
|            | 26 | 栗田 明   | 町内            |     |
|            | 27 | 佐藤 秀子  | 町内            |     |
|            | 28 | 遠田 且子  | 町内            |     |
|            | ※  | 伊藤 正三  | 真室川町歴史研究会(講師) |     |
|            | ※  | 大友 寿美代 | 教育課職員         |     |
|            | ※  | 佐藤 千加子 | ボランティアスタッフ    |     |

|     |   |        |       |
|-----|---|--------|-------|
| 先行車 | ※ | 佐藤 正美  | 教育課職員 |
|     | ※ | 横瀬 健吾  | 教育課職員 |
|     | ※ | 五十嵐 聡史 | 教職員研修 |
| 随行車 | ※ | 高橋 雄翔  | 教育課職員 |
|     | ※ | 阿部 駿之介 | 教育課職員 |

|     |   |       |           |
|-----|---|-------|-----------|
| 随行車 | ※ | 門脇 昭  | 真室川町教育長   |
|     | ※ | 高橋 雅之 | 教育課長      |
|     | ※ | 早坂 真紀 | 教育課主幹     |
|     | ※ | 大石 英輝 | 真室川北部小 校長 |
|     | ※ | 佐藤 哲也 | 運転手       |

真室川町教育委員会 教育課

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町124-4

☎0233-62-2223 FAX0233-62-2731

【タイムテーブル】

| 時刻    | 内容                        | 摘要                           | 所要<br>時間 |
|-------|---------------------------|------------------------------|----------|
| 8:00  | 受付開始                      |                              | 30 分     |
| 8:30  | 開講式                       | 中央公民館玄関前<br>※雨天時は研修室         | 20 分     |
| 9:00  | バス移動(中央公民館⇒台場跡)           |                              | 30 分     |
| 9:30  | 戊辰戦争及位の戦い台場跡見学            | 説明者：梁瀬館長                     | 10 分     |
| 9:40  | 徒歩移動(台場跡⇒地藏堂)             | 羽州街道を徒歩で移動                   | 20 分     |
| 10:00 | 地藏堂見学                     | 説明者：梁瀬館長                     | 10 分     |
| 10:10 | 古戦場跡見学                    | 説明者：梁瀬館長                     | 10 分     |
| 10:20 | バス移動(古戦場跡⇒延命寺)            |                              | 10 分     |
| 10:30 | 休憩(延命寺)                   | 住職からお寺の由来や歴史について講話後、館長から補足説明 | 30 分     |
| 11:00 | バス移動(延命寺⇒御小憩所跡・落合滝)       |                              | 10 分     |
| 11:10 | 明治天皇御小憩所跡・落合滝見学           | 説明者：梁瀬館長                     | 20 分     |
| 11:30 | バス移動<br>(御小憩所跡・落合滝⇒中央公民館) |                              | 30 分     |
| 12:00 | 閉講式                       | 中央公民館研修室<br>修了証交付 振返り記入      | 30 分     |
| 12:30 | 解散                        |                              | 10 分     |